

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2012
2


今年の交通安全年間スローガン(内閣府特命担当大臣賞) 一歩行者・自転車利用者に対するもの一

ヘッドホン 危険の合図 聞き逃す



第88回東京箱根間往復大学駅伝競走大会で先導する白バイ(往路:大磯さざれ石付近)

ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!
今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(1月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成24年		2,810	12	3,291
平成23年		3,264	15	3,890
増減数		-454	-3	-599
増減率		-13.9	-20.0	-15.4

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,061,898	4,543,753	4,518,145
免許人口	5,515,686	3,218,316	2,297,370
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成23年12月1日、免許人口は平成23年12月末)

第52回交通安全国民運動中央大会で2地区交通安全協会が受賞

1月17日、第52回交通安全国民運動中央大会が秋篠宮、同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、野田内閣総理大臣、当協会の石坂会長（全日本交通安全協会副会長）も列席し、華麗かつ盛大に日比谷公会堂で開催され、交通栄誉章「緑十字金章」、同「緑十字銀章」に続いて優良交通安全協会として都筑交通安全協会と鎌倉交通安全協会が表彰されましたが、それぞれの事務長からのメッセージをご紹介します。



鎌倉交通安全協会

〔沿革〕

鎌倉交通安全協会は、昭和31年4月に発足し、当初は鎌倉警察署内で業務を行っていましたが、昭和52年9月同署敷地内の現在地に移転し現在に至っております。

鎌倉の歴史は古く、正倉院に西暦735年にあたる年号の入った「鎌倉郷」と読める「交易帳」が収蔵されていますが、一般的には1192年、源頼朝が鎌倉幕府を開き武家政治を行った歴史と文化が色濃く残る、緑豊かな文化都市として、住んでみたい都市の上位に位置しております。

鎌倉警察署は、鎌倉市の南側約半分の26平方キロメートル、人口は10万1千人を管轄していますが、この狭い地域にJR横須賀線、江ノ島電鉄、湘南モノレールが運行され、これら3鉄道に13の駅を有しており、年間の観光客数は1,949万人を超え、管内道路の交通環境は油断を許さない状況となっており、警察及び関係機関・団体と緊密な連携を図り、実効のある交通安全活動に努めています。

〔組織と活動〕

当協会の構成は、野村会長以下19名の役員、事務局員4名、交通ボランティアの方々に交通安全活動を展開しています。特に、観光都市として安全で安心な町を目指していますが、管内に数多くある神社仏閣の祭礼等に際し、交通安全誘導の依頼が多く、これらの活動が大きなウェイトを占めているのが、他の交通安全協会には無い特徴かと思えます。

一方、高齢者の免許保有率が県下第1位であり、高齢者の事故防止のための各種講座・実技指導、自転車の点検・整備とTSマークの推進等のアドバイスに傾注しているところです。

この度、これら平素の活動が評価され、第52回交通安全国民運動中央大会での受賞の栄に浴し、大変恐縮しております。

今後とも、警察をはじめ関係機関・団体のご指導とご協力を賜り、県民の交通安全を願い、辰年にちなみ飛龍のごとき交通安全ボランティアの先頭に立ちたいと考えています。
(山本 記)



都筑交通安全協会

〔沿革〕

横浜市内18番目の区として平成6年11月都筑区の誕生に合わせ、平成12年5月、港北警察署から分離して都筑警察署が発足すると同時に、同署内に都筑交通安全協会として事務所を構えました。

区内には横浜市営地下鉄ブルーラインの4駅に加えて、平成20年に同地下鉄グリーンラインが完成、さらに4駅が誕生し、各駅を中心として大型商業施設が建設される一方で、北ルートや南ルートと呼ばれる緑道が区内の公園を結び、農家も調和するなど自然が多く残っています。江川せせらぎ緑道には遊歩道が整備され、四季の花々はもちろん、特に春の桜やチューリップの時期は、花見を兼ねての散策は大変見応えがあります。

都市化の進展に伴い、当然ながら都筑区の人口も増加が激しく、現在は20万人を超えており、まだまだ発展を続けている状況にあります。

〔組織と活動〕

当協会は、発足当初から皆川豊蔵会長が陣頭指揮をされ、会長以下、総勢100名の交通ボランティアの皆さんと事務局4名の職員（パート含む。）が、年間を通じて各季の交通安全運動等で警察や関係機関・団体と連携して交通安全活動を展開しています。

交通事故情勢については、当協会発足当初は発生件数が1千件を超えていましたが、当協会としましては警察署等のご指導を得まして、主な活動としては、センター北駅や同南駅での年間を通じたキャンペーン、有名人に1日署長を委嘱して安全運動中のキャンペーン、事業所に対する二輪車講習、その他自転車マナーアップや飲酒運転根絶など多くの交通安全教室などを推進した結果、交通事故は年々減少し、昨年は782件と大幅に減少させることができました。

このような活動が報われてこのたび受賞の栄に浴したことは、当協会としても励みになるものと感謝しておりますが、一方で、昨年は死亡事故が一昨年より増加したことを深刻に受け止め、更なる活動を展開していく所存です。

(薄 記)



第52回交通安全国民運動中央大会分科会

地域・家庭部会で意見発表

神奈川県交通安全母の会連合会会長 市村 小夜子



母の手で交通事故撲滅を！(発表要旨)

神奈川県交通安全母の会連合会は、各地区の活動をより強化し、幅広い活動を展開するために昭和63年に218地区によって結成されました。

昨今の自転車事故増加を憂慮し、母の会が主体となってスタントマンによる交通事故再現の「スケアードストリート事業」を誘致開催して、自転車の事故防止活動に取り組み高い評価をいただきました。また、県内では連合会独自の啓発活動を継続しています。

その代表に「チャイルドシート教室」が挙げられます。トイザラス店と連携し、様々な客層に合わせ、足を止めていただくべく体験型の工夫を凝らし、身長計を活用し、成長に合わせたチャ

イルドシートを推奨しています。また、保健福祉センターでは、月1回開催される「プレママ教室」にて、退院するときからチャイルドシートが必要なことを周知徹底すると同時に、チャイルドシートの正しい装着を指導しています。

地域小学校においては「子供の交通安全教室」を実施して、交通安全の基本ともいえるべき、歩行者・自転車走行・死角・巻き込み実験等を応援協力だけではなく、母の会が主体となって開催し、子供の事故防止活動を担っています。

現在の社会情勢下では、「開催場所の確保」と「対象者の効果的動員」が大変困難になってきているため、今後は、積極的に人の集まる場所に向いて、一人でも多くの方に交通安全の大切さ、ルール、マナーの周知徹底・促進・遵守の意識化を訴えていく、このような活動形態へのシフトが重要と強く思います。

それには、「母の会」だけでは限界があり、安全協会・他団体・民間企業・行政など関係機関との連携・協働事業展開の必要性がより高まっていると考えます。

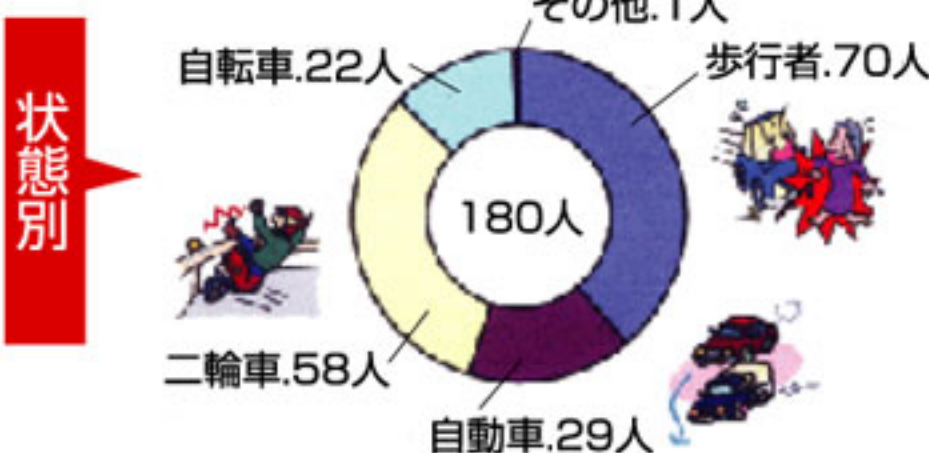
これからの交通安全活動は内容の充実とともに、一人ひとりの交通安全意識向上・実践にも細かい目を向けた活動でなくてはなりません。母の会は「交通安全は家庭から」の理念を掲げ、更なる努力を怠らず常に新鮮な問いかけと実践で、「交通事故撲滅」に向けて挑戦してまいります。

交通事故発生状況と死亡事故の特徴 (平成23年中)

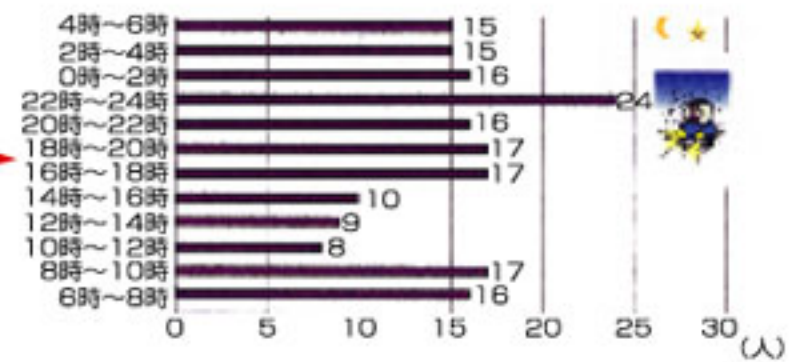
●交通事故発生状況

区分	全交通事故		
	発生件数	増減数	増減率
発生件数	38,800件	-3,015件	-7.2%
死者数	180人	-2人	-1.1%
負傷者数	46,226人	-3,418人	-6.9%

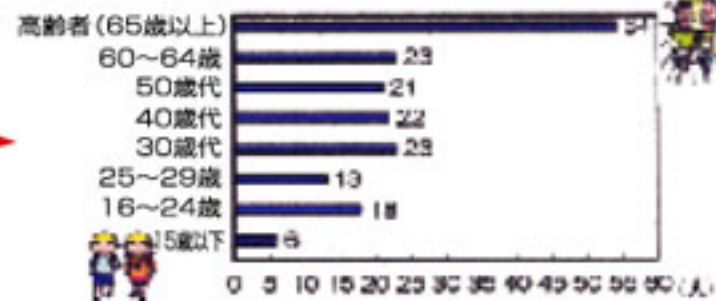
●死亡事故の特徴



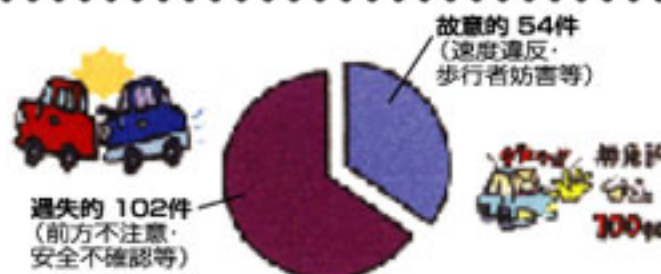
時間帯別



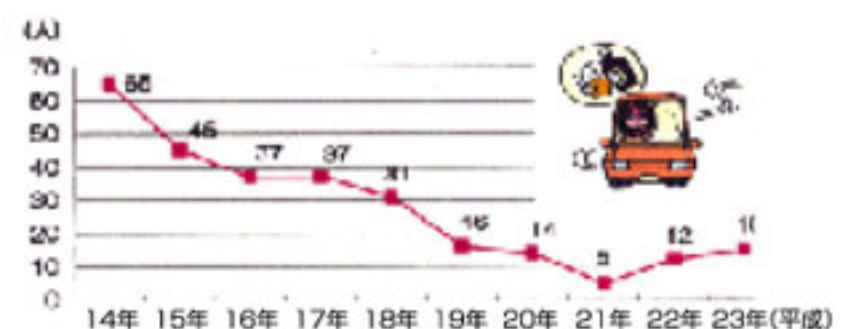
年齢層別



原因別



飲酒事故 死者数の推移



タイムマシーンをあげたい

19

警察官から見た交通死亡事故の回顧録

魔の海底トンネル

千葉と神奈川を結ぶ海底トンネルで、初めて人の命が奪われた交通事故が発生したのは、午前3時を過ぎたころだった。

現場は、スプリンクラーが作動して、事故車両や路面が消火剤で覆われ、辺り一帯に雪が舞っているかの様な異様な光景が広がっていた。やわらかな粉雪で作られたかまくらの様な消火剤の山が次第に溶け始めると、大型トラックの下にのめり込んだ黒い団子のようなものが現れた。なんと、それは、真つづに切れたアルファ Romeo だった。車内は、砕け散ったガラスと血の海でめちゃくちゃになつており、数分前まで高速道路を走っていた車と理解するには時間が必要だった。

私は、赤く点滅する停止棒を振りながら、「180キロも出すなんて無謀なドライバーだ。命を落としたのが自分一人ではよかったです。どうか。」と内心亡くなった男性を軽蔑、していた。

しかし、夜が明ける頃、遺体確認に訪れた家族を見て私は言葉をなくしてしまった。運転手の妻は、まだ幼さが残るとても可愛らしい女性で、そして、そのお腹は今にもはち切れんばかりに膨らんでいたのだ。名前は？ 性別は？ どちら似か？ どんな子に育つか？ 将来は…？ などと、この新しい命の誕生を夫婦で待ち望んでいたに違いない。

妻は、大きなお腹に手を当てて、「子供が生まれるのをあんなに楽しみにしていたのに…」と言葉を詰まらせた。旦那さんは、とても優しく、ドライブが大好きだった。これから生まれるわが子の顔を見ずに、この世を去ることを望んでいたわけではなかっただろう。交通事故の被疑者にも被害者にもそれぞれに家族があり、築いてきた家庭がある。死のうと思つて交通事故を起こす人はいない。

愛しい人たちが嘆き悲しむ姿を空の上から見て、激しく後悔し、涙しているであろう故人に、私は、心の中で手を合わせた。

地区交通安全協会会長会議・新春意見交換会の開催



石坂会長



黒岩知事

1月24日(火)、ロイヤルホールヨコハマにおいて、地区会長会議と意見交換会が開催されました。

会議では石坂会長が挨拶、来賓として県警交通部長、運転免許本部長、県防災局安全安心部長から挨拶をいただいた後、議事に入り、専務理事等県協会役員から「平成24年度事業計画(案)」等について説明がなされました。

引き続き開催された意見交換会には、黒岩県知事、久我警察本部長をはじめ関係機関・団体の代表者など多くの方々にご臨席をいただきました。冒頭、石坂会長から今年の交通安全全国国民運動中央大会で交通安全栄誉章を受章された方々に記念品の贈呈を行い、交通安全の誓いも新たに、盛大かつ和やかに意見交換会が行われました。

神奈川県交通安全対策協議会 総会開催

平成24年度事業計画案等を審議し、1月31日(火)、横浜市中区のワークピア横浜において、「神奈川県交通安全

全対策協議会総会」が開催されました。総会では3年間以上交通事故死者数「ゼロ」の達成町及び逗子市交通安全対策協議会、平成23年の交通事故死者数を「ゼロ」に抑止した横浜市港北区交通安全対策協議会他11協議会、交通死亡事故抑止をはじめ、地域の交通安全活動に多大な功労のあった秦野市交通安全対策協議会他4協議会と、県内の高齢者事故防止等交通安全活動に多大な功労のあった神奈川県データー協議会他1団体に黒岩会長(県知事)から感謝状が贈呈されました。続いて交通安全部会、交通施設部会、踏切対策部会、暴走族追放部会及び高齢者対策部会から、それぞれ平成23年度事業報告と平成24年度事業計画案に対する審議が行われ、いずれも原案どおり了承されました。

賛助会員のご紹介

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。

- あいざわ(株) 横浜市磯子区杉田1-21-9
- 杉原栄一様(個人) 横浜市金沢区釜利谷南4-23-15
- 三菱重工業(株)原動機事業本部横浜製作所 横浜市金沢区幸浦1-8-1
- (株)アペックス南関東支社横浜南営業所 横浜市戸塚区秋葉町201-5
- (株)TFK E保険プランニング横浜支店 横浜市中区住吉町4-45-1 横浜新関内ビル9F
- ダイドードリンコ(株) 横浜市港南区丸山台3-40-1

これもお知らせ

中型免許(第一種)の豆知識

平成19年6月から自動車の種類として普通自動車と大型自動車の間に、中型自動車が新設され、中型免許が新設されました。

★受験資格と運転できる自動車等

区分	普通免許	中型免許	大型免許
受験資格	18歳以上	20歳以上で、普通免許又は大型特殊免許のいずれかを受けており、その期間(有効)が通算2年以上	21歳以上で、中型免許、普通免許又は大型特殊免許のいずれかを受けており、その期間(有効)が通算3年以上
種類 重量等	普通自動車、小型特殊自動車、原動機付自転車	中型自動車、普通自動車、小型特殊自動車、原動機付自転車	大型自動車、中型自動車、普通自動車、小型特殊自動車、原動機付自転車
車両総重量	5トン未満	5トン以上11トン未満	11トン以上
最大積載量	3トン未満	3トン以上6.5トン未満	6.5トン以上
乗車定員	10人以下	11人以上29人以下	30人以上

★中型免許の適性試験・適性検査

※ 自衛官の特例規定あり

視力、深視力、聴力、運動能力の合格基準は、大型免許と同じ

★中型免許新設前の“旧普通免許(注)”で運転できる自動車等

- 中型自動車 (車両総重量8トン未満かつ最大積載量5トン未満で、乗定員10人以下)
- 普通自動車 ● 小型特殊自動車 ● 原動機付自転車

(注:「8トン限定中型免許」とも呼ばれ、限定を解除するには、運転免許試験場か指定自動車教習所で限定解除の審査を受け、合格することが必要です。)

自転車の豆知識 ①

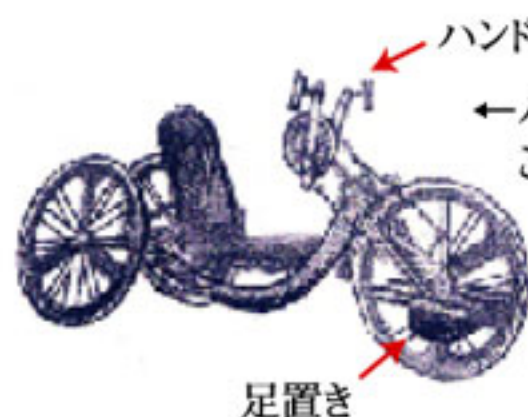
～自転車も めざせ!「事故ゼロ」 かながわ県
明るい笑顔 あなたの街から～



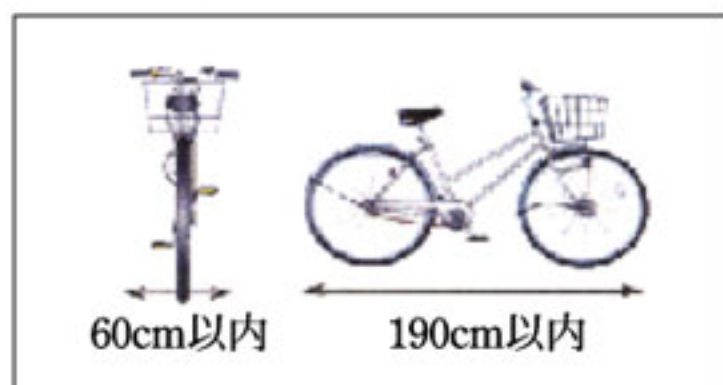
「自転車とは」?

● 道路交通法第2条第1項11号の2

ペダルまたはハンド・クランクを用い、かつ、人の力により運転する二輪以上の車です。
ただし、車いす、歩行補助車や小児用の車を除きます。



←ハンド・クランクを手で回して操作することによって進む自転車



じてんしゃ
マナーアップ
インかながわ



普通自転車とは?

● 道路交通法施行規則9条の2

- ① 長さ190センチメートル以内及び幅60センチメートル以内。
 - ② 側車(サイドカー)をつけていない(補助輪は除く。)
 - ③ 運転席以外の乗車装置がない(幼児用座席は除く。)
 - ④ ブレーキが、走行中に容易に操作できる位置にある。
 - ⑤ 歩行者に危害を及ぼすおそれがある鋭利な突出部がない。
- というもので、このどれか1つでも欠けると「普通自転車」とはいえず、
『ペロタクシー(写真右)』は、一般的に①、③に触れるため普通自転車にはなりません。





ハンドルキーパー運動の紹介

その228 中原交通安全協会から

中原交通安全協会(黒田満会長)では、安全協会と警察署が主体となって、管内の特に駐車場設備のある飲食店を対象に、3回に分けて、「飲酒運転根絶トイレ用ロール紙」やハンドルキーパーチラシを配布しながら、飲酒運転根絶キャンペーンを展開しました。



その227 川崎臨港交通安全協会から

川崎臨港交通安全協会(大川原久会長)では、交通安全母の会を先頭に出来野商店街から大師公園まで交通安全のぼり旗を手に、ハンドルキーパーロゴマーク付ビニール袋に入った啓発グッズ、飲酒運転根絶チラシ等を配布しながら買い物客や通行人にハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その230 相模原北交通安全協会から

相模原北交通安全協会(吉田實会長)では、タレントの安西ひろこさんに1日警察署長を委嘱し、県警音楽隊を先頭に150人が警察署前からアリオまでパレードを行って交通安全を呼びかけ、アリオ前広場で、再度、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その229 大和綾瀬交通安全協会から

大和綾瀬交通安全協会(古郡保正会長)では、大和市賀詞交歓会において、宴席テーブルにハンドルキーパーシールを配布した上、司会者が同シールをかざしながらハンドルキーパー運動について説明し、運動の実践を呼びかけました。



平成24年神奈川県警年頭視閲式

1月11日(水)、県警第1機動隊において年頭視閲式が開催されました。式には久我県警本部長以下警察官約700人、白バイやパトカーなどの車両約70台、ヘリコプター、警察犬が参加、来賓として県知事、県議会議長、県公安委員長をはじめ関係機関・団体の代表者が列席し、計1,000人を超える見学者が見守る中、県警本部長等による部隊巡閲、各部隊の分列行進の後、本部長訓示、来賓祝辞に続いてアトラクションとして県警白バイ隊によるテクニカル走行が行われ、華を添えました。



新春交通安全ミニ凧キャンペーン (栄交通安全協会)

昨年、3件の交通死亡事故が発生したことから、新年早々の1月5日、警察署裏庭で協会員手作りの「交通安全大凧」等を備え、神主を迎えて安全祈願を行った後、用意した手作り「交通安全ミニ凧」1,500個を通行中の自転車利用者やドライバーに配布しながら交通事故防止を訴えました。





栄交通安全協会
会長 鈴木 一美さん

栄交通安全協会は、昭和61年に行政区が戸塚区より分けて栄区が誕生し、それに伴い戸塚南警察署(戸塚南交通安全協会)が栄警察署(栄交通安全協会)と改称し、現在に至っています。

栄区は昭和40年代に始まったベッドタウン開発による人口の急増に、幹線道路の整備が間に合わず、かつ住宅地の多くが山を切り崩して造成されたため坂が多く、マイカー等交通量の増大もあって交通渋滞が問題でしたが、近年、幹線道路の整備も進み徐々に渋滞も緩和されてきました。また、昭和40年代に栄区に居住した方が多く、横浜市の中でも高齢化が進展していることから、当協会では高齢者の交通事故防止を重点として鈴木会長以下活動を続けています。

会長の鈴木一美さんは、この地に代々続いた農家の出身で、屋号は「ろくろや」と言いますが、区内の古い地区では同姓が多く、それぞれの家を屋号

で呼んでいたそうです。鈴木会長は地元農協に就職し、各地の農協支店長を歴任し、退職後は農協理事として活躍されました。現在も地元のお寺や神社の世話役等様々な活動をされており、地域での信頼も厚く、そのため交通安全協会の活動についても地域の方々の理解と協力を得て成果を上げています。

会長は栄区交通安全協会の設立当初より役員として活動され、平成20年に第4代会長に就任されました。当協会は会長のリードで各種の交通安全活動を行っていますが、そのなかでも「交通安全ミニ凧」は特筆すべきものでしょう。これはB5サイズの手作り凧で、「栄」の文字の中に交通安全標語を書き入れたもので、協会の発足当時より続いています。交通安全協会の役員が毎年夏頃から手分けして約1,500枚を製作し、

正月の区の賀詞交歓会の日に合わせて道行くドライバーに

手渡し、また、区内の交通関係の事業所に配布して交通安全を呼びかけています。栄区内を走るバスのフロントガラスの内側にもこのミニ凧が置いてありますので見ていただけたらと思います。

もう一つは「年末の飲酒運転大根絶運動」です。飲酒運転撲滅のために会長の畑で作った大根を協会の役員が収穫して、飲酒運転大根絶のチラシとともにドライバーに配布するなどキャンペーンを展開するものです。

会長の笑顔をいつも絶やさず、穏やかな性格は誰もが認めるところで、お酒の席でのカラオケの十八番はピンカラトリオの「女の道」で、独特の声と節回しによりその場を大いに盛り上げてくれます。公私ともにお忙しい鈴木会長ですが、これからも健康に気をつけて栄交通安全協会をリードしていただきたいと思います。(取材協力：栄交通安全協会)

インフォメーション

- 3月2日(金) 交通指導員連絡会議 県協会会館
- 3月9日(金) 優良職員表彰式 県協会会館
- 3月9日(金) 正副会長会議 県協会会館
- 3月9日(金) 第4回理事会 県協会会館
- 3月16日(水) 表彰審査委員会 県協会会館

こんにちは 「南交通安全協会」です

南交通安全協会は、当初「寿交通安全協会」として、昭和22年4月に発足しましたが、昭和58年2月に警察署が「寿警察署」から「南警察署」に署名が変更になったのに伴い、当協会も「南交通安全協会」と名称を変更しました。

また、平成5年9月には事務所を警察署内から警察署敷地内に移転し、現在に至っております。

南区内には、鎌倉街道をはじめとして3本の幹線道路があり、1日の車両通行量も約15万台にのぼり、横浜市内でも有数の交通量がある地域です。そのような道路環境の中で、平成21年11月4日から交通死亡事故の発

生が無く、現在まで2年以上「交通死亡事故ゼロ」の記録を更新中であります。これも警察はもちろん、我々の活動が実り区民の交通安全意識が高まったものと自負しております。

さて当協会は、男性事務長のほか、4名の女性職員・パートの方が交替で窓口業務を行っております。職員・パートの方は比較的年齢層が近いので話題も共通しているところから和気あいあいの中で笑いが絶えず、また「お客様に対しては笑顔で応対」をモットーに会員確保に奮闘・努力しています。

更に、更新免許の郵送業務に



も力を入れ「郵送での利点」を細かく説明し、多くの方に郵送していただけるよう努めております。

今後も「南区から一件でも交通事故を減らす」ことを合言葉に、窓口でのワンポイント・アドバイスや関係機関と連携し、各種活動を推進していきたいと考えております。

(佐藤 記)

～第88回東京箱根間往復大学駅伝競争を支える 地区交通安全協会ボランティア～

毎年恒例の東京箱根間往復大学駅伝競走では、正月2日、3日の2日間表舞台で活躍、先導する交通機動隊の白バイ警察官(表紙写真)がよく紹介されますが、裏通り交差点や駅伝競走路の沿道等において、交通整理や見物人の雑踏整理、広報車で広報などに当たる各地区交通安全協会のボランティアの方々も活躍しています。

ときには、雨や雪などの悪天候、酷寒の中、2日間、各半日以上も従事することとなり、とても正月気分どころの話ではない、いや、これがないと正月を迎えた気分にならないというボランティア精神に燃えている方もいらっしゃいます。今回は、88回も続いている伝統の駅伝競走を支えているボランティアの活動を紹介します。

川崎
(新川橋交差点付近)



戸部
(戸部警察署付近)



戸塚
(平和台交差点付近)



茅ヶ崎地区
(茅ヶ崎駅南口入口付近)



平塚市
(唐ヶ原付近)



鶴見
(鶴見中継所付近)



保土ヶ谷
(権太坂付近)



藤沢市
(富士見橋付近)



大磯地区
(旧澗波閘西方付近)



小田原
(箱根口付近)



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

昨年は、東日本大震災や台風の災害が多くあり、まさに激動の一年でありましたが、今年は無事平穏な一年でありたいものであります。

全安協が発行する「人と車」新年号に、奥村理事長と石坂当協会会長との新春対談が掲載されており、その中で、石坂会長が交通安全対策の一つの課題として、自転車の問題を取り上げております。示唆に富んだ内容ですので、是非ご一読いただきたいと思いますが、本県の人身事故に占める自転車事故の割合も年々増加し、自転車対策は急務であります。とはいえ、なんといっても、「免許いらずに気軽に乗れる自転車」、守るべきルールとマナーを徹底するの

も容易ではありません。

歩道を傍若無人に利用する自転車には誰しも「ビクッ」とした経験があると思いますが、どの家庭にも自転車の一台や二台はあり、歩行者のときにはマナー無視の自転車に憤慨しても、自分が乗った時には歩行者のもたついた歩き方に憤慨する。人とは「立場が変われば思いも変わる」とは「立場が変われば思いも変わる」とまことに勝手な生き物であります。この心理を理解して地道にマナーアップを図っていく必要があります。今後、更に重要度が増す「自転車マナーの徹底」については、当協会が広報・啓発活動の先頭に立って交通事故防止に努めてまいりたいと思

(K・K記)